

本校の自立活動と教育における合理的配慮

松山豊学校をはじめとした特別支援学校では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行うとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために、「自立活動」という指導領域が設けられています。

本校の自立活動は「3つの柱と4つの領域」からなります。「日本語の力」「障がい認識」「コミュニケーション」の3つの柱として掲げられた力を身に付けるために、聴覚学習、発音発語の学習、言語の学習、障がい理解の学習の4つの領域を学習します。自立活動の指導は、専科教員による自立活動の時間だけでなく、全ての教員が学校の教育活動全体を通じて行います。



さて、平成28年から障害者差別解消法が施行され、合理的配慮の提供が義務づけられるようになりました。教育上の合理的配慮は、障がいのある子供が他の子供と平等に「教育を受ける権利」を保障するために、学校の設置者や学校が、子供の障がいの状態に合わせた変更・調整を行うことです。

本校では、自立活動の指導において、一人一人の障がい特性やニーズに合わせて配慮事項や指導上の留意点を教員全体で確認し、指導を行っています。この配慮事項や指導上の留意点は、合理的配慮における「障がいの状態に合わせた変更・調整」でもあります。また、自立活動の指導を行う上で合理的配慮を考える場合、現在の支援が、自立活動の目的でもある将来の社会自立に結びつくものとなるように設定することが大切であり、そのことにも留意して指導を行っています。

今年度も、自立活動の指導の充実のため、御理解、御協力をお願いいたします。

平成30年度の特別支援教育コーディネーター

幼稚部：高須賀妙子

小学部：河村義和 久保久美子

中学部：金並正教 佐伯秋浩

高等部：今岡洋一 二宮洋子

個別の教育支援計画の作成や、学校以外の機関との連携に関する
ことについて担当させていただきます。
お気軽に御相談ください。

平成30年度の主な行事予定です

今年度も、様々な方に本校の教育について知っていただくとともに、聴覚障がいのある子供同士の交流を深めます。主な行事は次のとおりです。聴覚障がい教育に関心がありでしたらどなたでも参加できる「学校公開」も行っています（詳細はホームページに随時掲載します）。

運動会

平成30年5月26日（土）

※ 雨天時は体育館で実施します。



幼児体験学習・幼稚部説明会

第1回 平成30年6月21日（木）

第2回 平成30年10月25日（木）

※ 聴覚障がいのある幼児さんが対象です。教育相談もできます。

松山聾学校 学校公開

第1回 平成30年6月23日（土）

第2回 平成30年11月17日（土）

第3回 平成31年2月2日（土）

※ 聴覚障がい教育に関心のある方は、どなたでも参加できます。
また、教育相談もできます。

サマースクール

平成30年7月26日（木）

※ 聴覚障がいのある幼児さんから高校生の方が対象です。

手帳の所有や聴力レベルに関係なく参加
できます。

集団での遊びや学習会を通して交流を深めます。



高等部体験入学

平成30年9月7日（金）

※ 聴覚障がいのある中学生の方が対象です。
身体障害者手帳の所有や聴力レベルに関係なく参加できます。
授業体験等があります。

文化祭

平成30年10月21日（日）

※ ステージ発表や展示・販売・公開実習があります。

ウィンタースクール

平成30年12月26日（水）

※ 聴覚障がいのある乳幼児さんが対象です。

昨年度の事業報告 ～ 平成29年度の主な支援事業から

教育相談、小・中学校等への訪問支援

教育相談、訪問支援合わせ昨年とほぼ同じ518件の支援を行いました。小・中学校等の先生方や保護者の方からのさまざまな支援の求めに応じることができました。



新居浜市聴覚障がい児相談事業への協力

新居浜市こども発達支援センターで行われる教育相談に、月1回教育相談担当者を派遣し、保護者の方に対する聴覚障がいについての相談や、聴覚障がいのある子供への言語指導等を行いました。

学校公開

年間3回の学校公開を行い、延べ76名の方々に本校の授業を参観していただきました。



サマースクール・ウィンタースクール

サマースクールは、校外から20名の子供たちが参加し、遊びや創作活動、学習会などを通して本校の子供たちとの交流を楽しみました。

ウィンタースクールは、教育相談の乳幼児4名が参加し、保護者と共に活動を楽しみました。

公開講座

夏季休業中に、本校の教員が講師となり、幼稚園、小・中学校等の先生方を対象とした研修会を開催しました。35名の方に御参加いただきました。



松山聾学校ネットワーク会議

第1回目は、8月に県下の難聴特別支援学級の担任の先生方にお集まりいただき、研修と情報交換を行いました。

第2回目は、12月に聴覚障がいの乳幼児の療育機関である愛媛人工内耳リハビリテーションセンター、愛媛県視聴覚福祉センター、そして本校の3機関の担当者が話し合いを持ち、情報交換や連携の確認を行いました。

授業交流

小学部、中学部で延べ3回実施しました。計9名の児童生徒が来校し、授業を通して交流を深めました。

第2回 愛媛難聴児を共に育む会開催のお知らせ

日 時 平成30年5月19日(土) 13:00 ~ 16:00
 場 所 愛媛県視聴覚福祉センター 4F多目的ホール
 内 容 教員・保護者別分科会、教員・保護者合同分科会 など
 問い合わせ 松山聾学校 高須賀 妙子 (takasuka-taeko@esnet.ed.jp)
 申込締切 平成30年5月16日(水)

平成6年から愛媛大学にて毎年行われて行われていた「難聴学級担任者会」が、昨年度より会の名称を「愛媛難聴児を共に育む会」と改め、大学や保護者の会、学校等8機関の共催で開催しています。教員や指導員、保護者等が難聴児の教育に関して様々な視点から意見を出し合い、より良い教育環境を整えていくことを目的としています。

四国教育オージオロジー研究協議会 研修会のお知らせ

日 時 平成30年6月9日(土) 10:30 ~ 15:30
 場 所 愛媛大学城北キャンパス 総合情報センター メディアホール
 内 容 講演 「難聴の子どもの思春期の課題 一言語運用という観点から」
 「難聴の子どもの英語学習 一小学校外国語活動も視野に入れながら」
 講師 新潟難聴中学生のための英語学習会 代表 白井 一夫 先生
 資 料 代 会員 500円 (入会には入会金2000円が別に必要です)
 非会員 2500円 学生 無料
 問い合わせ 四国教育オージオロジー研究協議会事務局 金並 正教
 〒799-2655 愛媛県松山市馬木町2325 愛媛県立松山聾学校内
 TEL 089-979-2211 FAX 089-979-2214
 申込締切 平成30年5月18日(金)

四国教育オージオロジー研究協議会は、平成16年の日本教育オージオロジー研究会の発足をきっかけとして、全国各地で教育オージオロジー研究協議会が設立された流れの中でスタートしました。聴覚障がい教育における教育上の支援を教育オージオロジーとして充実させることを目的として、毎年研修会を企画しています。今回は、「難聴児・生徒理解ハンドブック—通常の学級で教える先生へ」の著者でもある白井先生をお招きしての学習会です。

編集後記

昨年度は諸事情により、発行が滞ってしまいましたが、年度が替わり、心機一転、自立活動に関する本校の取組や聴覚障がいに関する情報を、校内外に発信していきたいと思っております。一年間、よろしくお願いいたします。